



JASDAQ

平成 28 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 イメージ ワン
代表者名 代表取締役社長 高田 康廣
(J A S D A Q ・ コード 2667)
問合せ先 取締役管理部長 鶴飼 良一
(TEL 03 - 6233 - 3410)

中期経営計画に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 5 月 12 日に中期経営計画（平成 28 年 9 月期～平成 30 年 9 月期）を開示し、今期（平成 29 年 9 月期）は計画の第 2 年度にあたりますが、平成 28 年 10 月 24 日に「子会社の異動を伴う合弁会社の設立」で開示いたしましたとおり、新規事業として医療部門におけるインターネット予約・検索サイト事業への取り組みを開始し、この事業運営のための合弁新会社「株式会社イメージワン ゼロット」を設立したことを機に、現行の中期経営計画について目標最終年度と経営数値目標を修正し、新たにより大きな業績目標に向けて挑戦していくことを、本日開催の取締役会において決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画の修正内容

(1) 目標最終年度及び経営数値目標

修正前

目標最終年度：平成 30 年 9 月期

経営数値目標

(百万円)

平成 30 年 9 月期 目標		
イメージワン 単体	売 上 高	2,000
	営 業 利 益	150

修正後

目標最終年度：平成 31 年 9 月期

経営数値目標

(百万円)

平成 31 年 9 月期 目標		
イメージワン 連結	売 上 高	2,200
	営 業 利 益	210
	親会社株主に帰属 する当期純利益	118

(内訳)

イメージワン 単体	売 上 高	1,600
	営 業 利 益	110
	当 期 純 利 益	77
イメージワン ゼロット	売 上 高	600
	営 業 利 益	100
	当 期 純 利 益	80

※株式会社イメージワン ゼロットは、当社が資本の 51%を保有する連結子会社です。

(2) 事業戦略

修正前 (平成 27 年 5 月 12 日 開示内容)

- ① 商品力強化
 - ・台湾の EBM Technologies 社 (以下 EBM 社といいます) との業務提携を強化し、PACS (医療画像保管・配信・表示システム) 機能強化の充実とスピードアップを実現します。
 - ・PACS 以外の EBM 社商品ラインアップの新たな国内展開を進めます。
 - ・ConnectioRIS (放射線部門情報システム)、ConnectioMeD (診療情報統合システム) 等の自社開発商品の機能強化体制の効率化を図ります。
 - ・UAV (小型無人飛行機) の販売ターゲットの中心を、地球環境に関する調査・測量用途とし、ハイエンド機種^①の供給を安定的で短期間に実現できる体制をとります。
- ② 事業領域拡大
 - ・医療部門における事業領域拡大分野については技術、営業資産を活用できる医療画像分野に置きます。
- ③ 営業強化
 - ・関西地区の営業体制強化を最優先で行うこととし、このため営業部門全体の組織再編をおこないます。
 - ・売上拡大と顧客サービス充実を目的に地域営業拠点の増設を実行します。(計画期間中の 3 拠点増を目標)
 - ・プレゼンテーション力・商品知識強化のための営業教育を体系化します。
- ④ 新規事業
 - ・新規事業の中心を在宅医療・介護福祉分野に置き「duranta (テレメトリー式心電計)」の国内販売強化と同時に、事業パートナーであるフィンランド RIVERPARK 社を通じた欧州での展開を目指します。
 - ・「duranta」を発展させることで新たに循環器分野での事業立ち上げを図ります。

修正内容 (上記各項目のうち修正部分をアンダーラインで示しております。)

次の箇所を除いて、事業戦略に修正はありません。

- ② 事業領域拡大
 - 事業領域拡大方針としては、医療画像分野から拡大し、医療に関連する領域を広く捉えて取り組みます。具体的な事業展開として、新規設立した医療分野の予約・検索インターネットサイト事業会社の運営を開始いたします。
- ③ 営業強化
 - 地域営業拠点の増設方針は維持しつつも、医療画像システム市場の動向を見極めながら、目標としていた計画期間中の 3 拠点増設の時期と地域については慎重に判断し、順次対応していくことといたします。

2. 修正の趣旨

当社は、「人の健康、国や社会の安心・安全」の分野で、画像を通じてお客様の迅速な「意思決定」「意思伝達」を支援し、社会コスト削減に貢献することを企業理念に置き、医療分野と地球環境分野において画像解析技術や情報通信技術を提供しておりますが、中期経営計画（平成 28 年 9 月期～平成 30 年 9 月期）で、医療分野に経営資源を集中し、放射線部門を中心とした「医療画像保管・配信・表示システム (PACS)」をはじめ現行商品の営業強化と新規医療分野への事業領域拡大を行うことを方針として、業績拡大を目指してまいりました。

このたび、事業領域拡大方針の具体施策として、医療分野において多様で特色ある診療内容であることから、ユーザーへの適切でわかりやすい情報提供や予約問い合わせサービスへの需要が期待される、自由診療（保険非適用診療、自費診療）に特化した予約・検索インターネットサイトを展開することとし、事業運営会社として株式会社 EPARK との合弁会社となる株式会社イメージワン ゼロットを設立いたしました。

当社が資本金の 51%を出資し、連結子会社となる新会社は、当初の 2 年間、同社が運営するインターネットサイトの周知とクライアントとなる医療機関の新規開拓に注力し、3 年目に大きく収益化を実現する計画としております。

一方、現行の医療事業においては、計画初年度であった平成28年9月期業績が売上高では計画を上回ったものの、医療画像システム商品を中心に厳しい価格競争が継続していることなどから、利益については、計画を下回る結果となり、今後もこの市場動向は続くと判断しております。

新規予約・検索サイト事業の業績影響及び直近の医療画像システム商品の市場状況を考慮し、現行の中期経営計画について、基本方針は維持しつつも、目標最終年度と経営数値目標について修正することといたしました。

【ご参考】 平成29年9月期の業績予想（平成28年10月1日～平成29年9月30日）
（百万円）

平成29年9月期 予想		
イメージワン 連結	売上高	1,560
	営業利益	24
	親会社株主に帰属する当期純利益	26
(内訳)		
イメージワン 単体	売上高	1,540
	営業利益	104
	当期純利益	70
イメージワン ゼロット	売上高	20
	営業利益	▲80
	当期純利益	▲86

【本資料に関する注意事項】

1. 新会社である株式会社イメージワン ゼロットの概要につきましては、平成28年10月24日に開示いたしました「子会社の異動を伴う合弁会社の設立」の中でも説明いたしておりますので、合わせてご覧ください。
2. 本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報や、合理的と判断した一定の前提に基づいて策定されたものであり、潜在的なリスクや不確実性等を含んでいることから、その達成や将来の業績を保証するものではありません。今後の様々な要因の変化により実際の業績は、本資料の記載内容と異なる結果となる可能性があります。

以 上